

UNIXサーバー版 バージョンアップ内容 (Ver6.11R03 → Ver6.11R04)

2003年10月31日
パナソニック ソリューションテクノロジー(株)

・UNIXサーバー版が Ver6.11R04 にバージョンアップされました。
変更点は以下のとおりです。

機能改善

ツールキット

tk_ucug

処理区分「11」(役職情報)にて、データ更新(補助情報区分[R]および[W]選択時)の際に -Z オプションが利用できるようにしました。
詳細は「GlobalFamily UNIX/NTサーバー側ツールキット(DB構築ツール)」をご参照ください。

不具合修正

GlobalFlow

up_fb32

起案・遂行中にエラーが発生して、現インスタンスが存在しない不正なデータができた場合に、強制完了または強制削除を行うと無限ループに陥ることがある不具合を修正しました。このような場合は、強制削除のみが可能です。
処理を継続させるには、直前の遂行者が呼戻しを行ってから再遂行を行うようにする必要があります。

up_fb32

グループ別進捗で、複数宛先インスタンスで誰か一人が遂行すれば次へ書類を進めるインスタンスで停滞している書類を、強制遂行または強制完了すると、「強制処理できません」のメッセージが表示される不具合を修正しました。

up_fb30

メールインスタンスに複数宛先を指定した場合、書類遂行が終了しないことがある不具合を修正しました。

GlobalDoc

up_e892

フォルダーの移動処理で重複時の処理を”スキップ”とした場合に処理が終わらないことがある不具合を修正しました。

up_e890

GlobalDocクライアントでメディア移動を行った際、アクセスログが残らない不具合を修正しました。

GlobalSchedule

up_81a041

仮予約管理者が仮予約の場所・施設のスケジュールを否認したとき、スケジュールアクセスログの処理区分が空白で出力されていた不具合を修正しました。

up_81a840

仮予約場所・施設を含む会議開催時にスケジュールアクセスログの処理区分が更新(通常)「03」で出力されていた不具合を修正しました。
更新(仮予約・確定)「01」または更新(仮予約・未確定)「02」と出力されます。

up_81a041

up_81a042

up_81a044

開催者がメール休止状態のとき、参加者が「出席」または「欠席」の通知メールを送信するとシステムエラーが表示される不具合を修正しました。